

平成 2 8 年 度

事業報告書



諸木野の桜 H29.4.19 撮影

社会福祉法人 徳成会
特別養護老人ホーム 悠樂園

平成28年度事業報告書目次

I、法人及び施設の沿革	1
II、概要	3
III、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の利用者の状況	
1、月別利用状況	5
2、男女別要介護度の状況	6
3、年齢別状況	6
4、市町村別利用者の状況	7
5、入院、退院の状況	8
6、外来受診の状況(特別養護老人ホーム、短期入所生活介護)	8
7、面会の状況	9
8、日課	10
9、主な月別年間実施行事、来園者、及び研修内容	11
10、給食の状況、栄養マネジメント	
1)給食の状況	14
2)栄養マネジメント	16
IV、居宅介護サービス、生活支援ハウス	
1、平成23年4月から平成29年3月までの在宅サービス利用状況	18
2、短期入所生活介護	
1)短期入所生活介護利用状況(市町村別)	19
2)短期入所生活介護月別利用者数(要介護度別)	19
3)短期入所生活介護月別利用延べ日数(要介護度別)	19
3、平成28年度空床型特養の利用状況	20

4、通所介護	
1)通所介護利用状況(市町村別)	21
2)通所介護月別利用者数(要介護度別)	21
3)通所介護月別利用延べ日数(要介護度別)	21
4)通所介護日課表	22
5)通所介護年間行事	22
5、居宅介護支援事業	23
6、給食サービス	24
7、生活支援ハウス	
1)利用状況	25
2)年間行事	25
3)委託料	25
V、平成28年度実施事業	26

I、法人及び施設の沿革

社会福祉法人 徳成会

特別養護老人ホーム 悠楽園

悠楽園 生活支援ハウス

居宅介護サービス事業

奈良県宇陀市榛原檜牧 5 8 4 番地

敷地面積 10,079.54 m²

建物延面積 2,762.57 m²

定員 5 0 名

定員 1 0 名

短期入所生活介護、介護予防短期入所生活介護 定員 6 名

通所介護、介護予防通所介護 定員 2 0 名

居宅介護支援事業

配食サービス

平成元年 7 月 15 日

平成元年 7 月 18 日

平成 元年 6 月 24 日

平成 2 年 3 月 31 日

平成 2 年 5 月 1 日

平成 5 年 6 月

平成 8 年 4 月

平成 8 年 8 月

平成 9 年 3 月

平成 11 年 9 月

平成 11 年 10 月

平成 11 年 10 月

平成 11 年 10 月

平成 12 年 1 月

社会福祉法人 徳成会 設立許可（奈良県指令高福第 8 5 号）

社会福祉法人 徳成会 設立登記

特別養護老人ホーム 悠楽園 着工

特別養護老人ホーム 悠楽園 竣工

特別養護老人ホーム 悠楽園 事業開始

通所入浴サービス事業開始

給食サービス事業開始

地域交流ホーム 着工

地域交流ホーム 竣工

短期入所生活介護の定員を 4 名から 6 名に増員

居宅介護支援事業開始

通所入浴サービス事業廃止

通所介護（デイサービス・サテライト型）事業開始

訪問介護（ホームヘルプ）事業開始

平成 2 8 年度事業報告

平成 12 年 5 月	給食サービスの配達開始
平成 12 年 11 月	仮称悠楽園高齢者生活福祉センター着工
平成 13 年 8 月	仮称悠楽園高齢者生活福祉センター竣工
名称を「悠楽園デイサービスセンター、悠楽園訪問介護ステーション、及び、悠楽園生活支援ハウス」と決定	
平成 13 年 8 月	デイサービス・サテライト型廃止
平成 13 年 8 月	悠楽園デイサービスセンター（老人デイサービスセンター）事業開始
平成 13 年 10 月	悠楽園生活支援ハウス事業開始
平成 14 年 1 月	社会福祉法人 徳成会 評議員会設置
平成 14 年 4 月	デイサービス（通所介護）事業の定員を 10 名から 15 名に増員
平成 15 年 11 月	デイサービス（通所介護）事業の定員を 15 名から 20 名に増員
平成 18 年 4 月	介護予防事業（短期入所生活介護、通所介護、訪問介護、居宅介護支援） 開始（居宅介護支援は宇陀市地域包括支援センターより介護予防サービス 計画作成業務を委託される）
平成 20 年 5 月	訪問介護、及び介護予防訪問介護事業を廃止 デイサービス（通所介護、介護予防通所介護）事業の定員を 20 名から 25 名に増員
平成 20 年 12 月	デイサービス（通所介護、介護予防通所介護）事業の定員を 25 名から 30 名に増員
平成 24 年 4 月	デイサービス（通所介護、介護予防通所介護）事業の定員を 30 名から 20 名に減員
平成 24 年 7 月	理事長 森家 裕 退任 森家 誠 就任
平成 27 年 10 月	特別養護老人ホーム 悠楽園リニューアル工事設計開始
平成 28 年 6 月	特別養護老人ホーム 悠楽園リニューアル工事完成

Ⅱ、概要

平成28年度は平成27年度に続き特別養護老人ホームのリフォーム工事を行った。この工事に、エレベーターメーカーの推奨するオーバーホールも含めた。26年間使用した老朽化に加え、耐震基準等の改定で必要な事であったが、全国的に発注が殺到した為、部品の製作完了が6月中旬となり、工期が11日間かかった。結果、6月末に完了した。エレベーター工事が最終と成ったが、工事自体は計画通りに継続して最短で事故も無く完成した。

工事の影響で、特別養護老人ホームと短期入所生活介護の利用者を定員56人のところ40人程度まで減らさざるを得なかった。工事終了の7月からは入所可能であったが、待機者はほとんどが老人保健施設や有料老人ホーム等に入所しており、当施設に入所希望していても「すぐに入所しなくても。」と言う人も居り、又、利用者やご家族が希望しても、契約条項に「1ヶ月前に申し出ること」等があり、なかなか他の施設から迅速に移動することが難しかった。待機者は30名程度居たが、東和地域全体の待機者が減っており、特別養護老人ホームのベッドが埋まるまでに約半年要した。短期入所生活介護は、年度末時点でほとんど空いている状況ではあるが、徐々に病院、老健、グループホーム、小規模多機能、有料老人ホーム、新型特養からの問い合わせや利用希望がある。当施設がフル回転するのは29年度になりそうである。決算は、経費は例年通り必要であるが利用者が減った分3400万円程度の赤字であった。来年度は解消の見込みである。

利用者の状況は、工事期間中にもかかわらず安定していた。冬場のノロウイルスやインフルエンザの感染も、1部の職員は罹患したが利用者への感染は皆無であった。施設内行事も工事の関係でやり辛いにもかかわらず、それなりに行うことが出来た。工事完了後は、見学者等、施設を訪問する人が増えたように感じる。

職員関係では毎年十分な人数とは行かないまでも、最低基準は何とか確保されている。退職等で職員の入れ替わりも相変わらず多いので、人材育成の面でも基本的な研修が多く、なかなかレベルアップするまでには至っていない。出来るだけ長く働けるように業務の効率化を図り、出来る事は全て業務委託する様にしている。昨今、求人は困難を極めており、人材派遣も利用している。

Ⅲ、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の利用者の状況

1、月別利用状況

(単位:人・%)

月	入園者数	退園者数		月初日現在 入所者数	延べ 利用日数	利用率	介 護 度						介護度 平 均
		死亡	その他の理由				要支援	1	2	3	4	5	
3				41									
4	0	0	0	40	1,200	80.0	0	1	2	12	15	10	3.78
5	2	0	0	40	1,261	81.4	0	1	2	14	15	10	3.93
6	0	0	0	42	1,260	84.0	0	1	2	14	15	10	3.74
7	1	0	0	42	1,328	85.7	0	1	1	15	15	11	3.88
8	1	2	0	43	1,295	83.5	0	1	0	15	16	10	3.72
9	1	0	1	42	1,233	82.2	0	1	0	14	16	11	3.86
10	3	0	0	42	1,359	87.7	0	1	0	14	17	13	4.19
11	5	0	1	46	1,409	93.9	0	1	0	16	21	12	4.20
12	0	1	0	49	1,486	95.9	0	1	0	15	20	12	3.80
1	0	0	1	48	1,484	95.7	0	1	0	15	20	12	3.88
2	3	4	0	46	1,280	91.4	0	1	0	13	22	10	3.87
3	2	0	0	47	1,434	92.5	0	1	0	13	24	10	3.96
年間	18	7	3		16,029	87.8							3.90

2、男女別要介護度の状況

(単位:人・度)

	男	女	合 計
要介護度1	1	0	1
要介護度2	0	0	0
要介護度3	2	11	13
要介護度4	2	22	24
要介護度5	0	10	10
平均介護度	3.00	3.98	3.88

(平成29年3月31日現在)

3、年齢別状況

(単位:人・%)

	65歳未満	65歳以上 70歳未満	70歳以上 75歳未満	75歳以上 80歳未満	80歳以上 85歳未満	85歳以上 90歳未満	90歳以上 95歳未満	95歳以上	合計	平均年齢
男	0	0	0	2	0	2	0	1	5	95.0
女	0	1	0	0	9	15	12	6	43	88.8
計	0	1	0	2	9	17	12	7	48	88.4
構成比	0.0	2.1	0.0	4.2	18.8	35.4	25.0	14.6	100.0	

(平成29年3月31日現在)

4、市町村別利用の状況

(平成. 29. 3. 31現在)

	前 住 所 地	男	女	計	構成比
県 内	榛原	2	32	34	70.8
	室生	1	1	2	4.1
	菟田野	1	0	1	2.1
	大宇陀	0	3	3	6.3
	宇陀市 合計	4	36	40	83.3
	曾爾村	0	3	3	6.3
	橿原市	0	1	1	2.1
	桜井市	0	1	1	2.1
	吉野郡	1	1	2	4.1
	小 計	5	42	47	97.9

(単位:人・%)

	前 住 所 地	男	女	計	構成比
県 外	三重県多気郡大台町	0	1	1	2.1
	小 計	0	1	1	2.1

	男	女	計	定員	構成比
合 計	5	43	48	50	100

5、入院、退院の状況

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	4
	計	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	4
退院	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
	計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2

6、外来受診の状況（緊急受診及び定期受診、短期入所生活介護を含む）

(単位:回)

月	内科	外科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	耳鼻科	婦人科	眼科	神経内科	歯科	精神科	脳外科	消化器 外科	計
4	4	0	0	0	0	1	0	1	17	0	0	0	0	23
5	0	0	2	0	0	0	0	1	18	0	0	0	0	21
6	0	0	1	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	19
7	1	0	0	2	0	1	0	0	18	3	0	0	0	25
8	0	0	4	0	0	0	0	1	18	4	0	0	0	27
9	1	0	3	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	22
10	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	20
11	0	0	1	1	0	0	0	1	21	0	0	0	0	24
12	1	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	21
1	0	0	0	3	0	0	0	1	19	0	0	0	0	23
2	0	0	0	0	1	1	1	1	19	1	0	0	0	24
3	0	0	2	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	19
計	7	0	13	6	1	3	1	6	223	8	0	0	0	268

7、面会の状況

(平成29年3月31日現在)

平成28年度個人別面会回数(短期入所生活介護を含む)

(単位:回・人)

回数	0	1	2～5	6～10	11～15	16～20	21～30	31～40	41～
人数	1	7	9	12	10	5	11	3	5

主な面会者と利用者との関係(短期入所生活介護を含む)

(単位:回)

続柄	配偶者	子供	兄弟	親族	その他	総回数
回数	66	771	41	50	32	960

8、日課

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0																					
毎日	水分補給 定時おむつ交換・トイレ案内		巡回 水分補給 定時清拭		定時おむつ交換・トイレ案内、 巡回 水分補給		更衣、水分補給		起床		着替え、洗面介助、朝食準備 お茶交換		うがい、口腔ケア 義歯洗浄		朝食介助、与薬、後始末、 義歯洗浄		朝礼、申し継ぎ		水分補給 陰部洗浄、オムツカバー交換		トイレ案内、 屋食準備		口腔体操 屋食介助、与薬、後始末		うがい、口腔ケア、義歯洗浄		※は午前中行事があった場合 ※陰部洗浄 定時オムツ交換・トイレ案内		水分補給 おやつ		洗濯物集配 お茶交換		夜勤者との申し継ぎ、夕食準備		夕食後始末、うがい、口腔ケア 夕食介助、与薬		定時おむつ交換・トイレ案内 着替え 義歯洗浄		水分補給、与薬		巡視、消灯		水分補給		定時おむつ交換・トイレ案内、 水分補給	
平日（日曜含む）											洗濯物集配、処理 リネン整理、行事				清掃、トイレ掃除 ベッドメイキング				行事 義歯洗浄																											
シーツ交換日											洗濯物集配、処理 シーツ交換				清掃、トイレ掃除 リハビリ ベッドメイキング				行事 清掃																											
入浴日											洗濯物集配、処理 ベッドメイキング				清掃 一般浴、リフト浴 リハビリ、機械浴				機械浴																											

注：おむつ交換・トイレ案内と清拭は定時以外に必要なに応じ随時

9、主な月別年間実施行事、来園者、及び研修内容

	総務、法人関係	行事	慰問、ボランティア、研修、見学実習	職員研修、会議
4月	歯科Dr来園(毎月) 発電機点検 血液検査 壁仕切り・足場工事 本館トイレ断水 ヤクルト自販機移動 バリケード撤去	喫茶店(毎月) 誕生日会(毎月) 散髪(毎月)	傾聴ボランティア(毎月) お話会	給食会議(毎月) 介護職会議(随時) 部門長会議(随時) 職員会議(随時) 新人研修(随時) 新任職員研修(随時) 感染症対策会議(随時) 褥瘡予防委員会会議 事故防止委員会会議 身体拘束委員会会議
5月	毎月行事 エレベーター点検 浄水器交換 理事会 ボイラー点検 タンク清掃 診察室移動・工事 ならの木ブランド課	毎月行事 開園記念 母の日	毎月行事 仏教婦人会ビハーラ 介護相談員 NPO法人 sss来園(シーツ寄贈) 歌謡ショー(ハートスマイル)	毎月会議
6月	毎月行事 消防設備点検 WAX2F エレベーター工事	毎月行事 父の日	毎月行事 介護相談員	毎月会議 不在者投票事務打ち合わせ会 第1回栄養士研究会 特定給食施設等関係職員研修会
7月	毎月行事 実地監査 害虫駆除 停電 不在者投票 エアコン修理 2F用洗濯機・乾燥機設置 パンフレット用写真撮影 WAX1F	毎月行事 冬布団引き取り 夏布団納入	毎月行事 仏教婦人会ビハーラ 介護相談員 アコーディオン演奏 リズム体操 お話会	毎月会議 奈良県経営協社会福祉法人制度改革対応セミナー 介護支援専門員(ケアマネ)担当者会議 褥瘡予防委員会会議 事故防止委員会会議 身体拘束委員会会議

	総務、法人関係	行事	慰問、ボランティア、研修、見学実習	職員研修、会議
8月	毎月行事 ボイラー修理 自動扉点検 ドコモ工事 WAX2F	毎月行事 花火大会	毎月行事 ジュニアお話し会 介護相談員 アコーディオン演奏	毎月会議 地域ケア会議
9月	毎月行事 イーネット ボイラー点検 特浴リフト修理 WAX1F	毎月行事 敬老会 秋祭り	毎月行事 仏教婦人会ビハーラ 天理教婦人会奉仕作業 詩舞(翼風会) 介護相談員 アコーディオン演奏 リズム体操 お話し会	毎月会議 奈良県社会福祉法人共同事業説明会 デイサービス担当者会 都道府県医療介護連携調整実証事業ケアマネージャー会議 宇陀市多職種連携の会連絡会及び認知症研修会
10月	毎月行事 一般浴工事 リフト点検 乾燥機修理 害虫駆除 パラマウントベッド修理 デイ乾燥機修理 自販機移動 WAX2F	毎月行事 榛原小学校運動会観賞 夏布団引上げ 冬布団納入	毎月行事 介護相談員 アコーディオン演奏 リズム体操 お話し会	毎月会議 奈良の木ツアー 奈良県認定調査員研修(現任) 褥瘡予防委員会会議 事故防止委員会会議 身体拘束委員会会議
11月	毎月行事 イーネット 健康診断 ファンヒーター入替 天井修理 インフルエンザ予防接種 WAX1F	毎月行事 消防訓練	毎月行事 仏教婦人会ビハーラ 介護相談員 アコーディオン演奏 リズム体操 宇陀市役所生活支援ハウス見学	毎月会議 日本福祉施設士会第27回近畿ブロックセミナー和歌山大会 第2回宇陀市医療・介護連携シンポジウム 社会福祉法人制度改革の施行に向けた説明会 地域医療・介護連携シンポジウム 奈良県経営協 社会福祉法人制度改革セミナー 奈良県社会福祉法人共同事業キックオフセミナー 食品衛生講習会 第3回地域ケア会議 奈良県認知症介護基礎研修 法人後見従事者養成講座 在宅介護事態調査説明会 奈良県認定調査員研修 第3回地域ケア会議
12月	毎月行事 あんしんセンター100歳体操 汚泥引き上げ・タンク清掃 タイヤ交換 消防設備点検	毎月行事 餅つき大会	毎月行事 介護相談員 クリスマス会(歌手:にしゆき氏) アコーディオン演奏 リズム体操	毎月会議 法人後見従事者養成講座 奈良県老人福祉施設協議会 生活相談員研修 宇陀在宅医療を推進する会 認知症サポーター養成講座

	総務、法人関係	行事	慰問、ボランティア、研修、見学実習	職員研修、会議
12月	WAX2F		門松作成	日常生活支援総合事業説明会 在宅・施設で注意すべき感染症講座
1月	毎月行事 NTT光導入現地調査 ボイラー点検 労働局調査 断水 WAX1F	毎月行事 お正月祝い膳	毎月行事 介護相談員 お話会	毎月会議 宇陀市介護予防・日常生活支援総合事業 事業所説明会 宇陀地域医療介護情報連携ICT導入セミナー 褥瘡予防委員会会議 事故防止委員会会議 身体拘束委員会会議 宇陀市総合事業 事業所説明会
2月	毎月行事 リフトオーバーホール 段ボール回収 浄化槽点検 WAX2F エレベーター点検 布団業者交換	毎月行事 節分	毎月行事 介護相談員 お話会	毎月会議 日常生活総合事業説明会
3月	毎月行事 タイヤ交換 WAX1F	毎月行事 消防訓練 ひなまつり	毎月行事 歌謡ショー(コーラスおもちゃ箱) 介護相談員 榛生昇陽高校 都祁福祉センター見学	毎月会議 奈良県社会福祉法人経営者協議会第1回総会 奈良県老人福祉法人経営者協議会第1回通常総会 宇陀市多職種連携研修会
<p>他に毎月又は、随時実施するもの</p> <p>◎ 買物、ミニ喫茶</p> <p>クラブ活動として</p> <p>◎ 音楽クラブ(歌唱、カラオケ等) 戸外散策、習字クラブ、レクリエーションクラブ、貼り絵、ぬり絵等</p> <p>水質検査 ー 大和環境センター</p> <p>浄化槽点検 ー 宇陀環境開発(株)</p> <p>エレベーター点検 ー 日立エレベーター(株)</p> <p>ワックス掛け ー ビーワーク</p>				

10、給食の状況、栄養マネジメント

1) 給食の状況

1. 衛生管理など

水質管理、食品の温度管理は例年どおり規定を遵守している。

食中毒に関しても、利用者様・職員ともに罹患者は出なかったことから安全な食事提供ができていると考える。

O-157 やノロウイルス流行の時期には次亜塩素酸ナトリウムによる消毒や食品の温度管理を徹底して行った。

また食中毒発生時に使用する二次感染予防マニュアルも介護職員や厨房職員も交え再確認をし、感染が確認された場合に備えている。

2. 献立作成について

献立の給与栄養目標量は利用者様の推定エネルギー必要量やたんぱく質推奨量の加重平均と、2015 年度版食事摂取基準を参考に作成している。

当施設の推定エネルギー必要量の一人当たりの平均値は平成 29 年 2 月現在で 1195kcal であり、2015 年度版食事摂取基準内に記載されている推定エネルギー必要量よりも値が低くなっている。(70 歳以上、身体活動レベル I の場合 男性：1850kcal / 女性：1500kcal)
これは食事摂取基準内での計算が 70 歳以上と幅が広がっており、実際入所されている利用者様のほとんどが 80 歳以上の方で身体活動レベルも低いことや、女性の利用率が高いことなどが理由と考えられる。

《給与栄養量》

	エネルギー	蛋白質	脂質	Ca	Fe	レチノール当量	VB1	VB2	VC	食物繊維
	kcal	g	g	mg	mg	μg	mg	mg	mg	g
普通食	1500	60	40	680	7.0	700	1.0	1.1	100	17.5
ソフト食	1460	55～60	35～40	680	7.0	700	1.0	1.1	100	16.0
ミキサー食	1260	45～55	30～35	680	7.0	700	1.0	1.1	100	14.5
ゼリー食	1300	45～55	30～35	680	7.0	700	1.0	1.1	100	14.5

3. 献立の内容について

年に1回の嗜好調査と食事時のラウンド中の聞き取りや残食を考慮し、献立内容を検討している。

当施設では野菜や豆腐の残食が多く見られる。野菜不足は免疫力の低下や便秘を引き起こす原因になるため、炊き込みご飯や具沢山味噌汁にし野菜の摂取量を増やしたり、豆腐は水臭くて食べにくいという声が多いため、白和えにしたり餡や味噌をかけて食べやすい様工夫している。

又、各イベント・季節に合ったお楽しみメニューや祝い膳の松花堂弁当（年3回）を提供し飽きのこない献立作成を心がけている。

4. 喫茶店・料理レクリエーションなど

特養では毎月1回誕生日会と兼ねて喫茶店を実施している。喫茶店では利用者様がリクエストされたお菓子の提供や、おやつ作りレクリエーションを行った。おやつ作りは皆様に参加していただけるよう簡単なものを選んでいく。毎年恒例となっているおはぎ作り、スイートポテトやクレープなどを目の前で作り食べることで、普段は食の細い方でも「おかわりが欲しい」と言われる程喜んでいただけた。デイサービスでは毎月2～3回調理レクリエーションを行っている。28年度は皆様からリクエストの多いおはぎや大福、アレンジ次第でいろんなものが作れるホットケーキミックスを使ったおやつを作り提供した。

支援ハウスでは28年4月よりベランダ菜園を始めた。ほうれん草や枝豆、夏にはトマトやナス、紫唐辛子を栽培し、収穫した野菜はその場で調理し夕食の1品として召し上がられている。自分たちで野菜の水やりや害虫駆除もされ、できあがった野菜を食べることで農作業をされていた昔のことを思い出し、楽しんでいただけている。

又、特養・デイサービス（支援ハウス入居者含む）の合同行事で納涼大会、寿司バイキングを実施した。

夏祭りのような雰囲気では焼きそばやフランクフルトを舟皿に盛って提供したり、目の前で握った寿司を提供して皆様大変喜んでおられた。

5. 給食会議

管理者、栄養士、看護師、ケアマネージャー、介護職員、厨房職員が参加し、毎月1回給食に関する会議を開催している。

日々の食事に対する意見や、改善点などを多職種で話し合い、安全でおいしい食事提供ができるよう有効に機能している。

6. 厨房内の改良・保守など

28 年度は使用機器の改良などはないが、食器（粥碗・汁碗）を新しく入れ替えた。食事は味はもちろんの事、見た目という部分でも非常に大きなウェイトを占めているため、食器が新しくなり、より一層食欲が増すことを期待している。

2) 栄養マネジメント

1. 栄養スクリーニングの実施

BMI、体重減少率、血清アルブミン値、食事摂取量、褥瘡の有無などから低栄養状態のリスク判定を行っている。

リスク判定の内訳は平成 29 年 3 月末で、低リスク者 16 名・中リスク者 27 名、高リスク者 4 名となっている。

前年度より高リスク者が増えているが、臥床時間の延長により褥瘡の発生リスクが高まっていることが原因だと考えられる。

多職種で連携し、栄養状態や皮膚状態の改善に努めていきたい。

2. 栄養アセスメント・ケア計画の作成

低栄養のリスク判定に基づき、解決すべき課題の把握を行う。

身体状況、食事摂取状況、食環境などを多職種で意見交換し、個々に対応したケア計画を作成している。

また、疾病により食事制限や特別な食事提供が必要な方には医師の指示に従い療養食の提供も行っている。

療養食提供の際は、別途療養食事箋を作成・医師の確認を得た上で栄養ケア計画にも内容を記載している。

平成 29 年 3 月末で、療養食提供は糖尿病食 4 名・心臓病食 2 名の計 6 名である。

3. 栄養ケア計画の実施・モニタリング

栄養ケア計画を本人または家族に説明・同意を頂き、計画を実行する。

低リスク者は 3 ヶ月ごと、中リスク者は 1 ヶ月ごと、高リスク者は 2 週間ごとにモニタリングを行う。

モニタリングの内容としては毎日の体調の変化や排尿・排便記録、医師の診察結果や食事摂取量などを記録し、評価に用いる。

体重は全員 1 ヶ月に 1 回（高リスク者は 2 週間ごと）測定し、体重の減少・増加の経過を確認している。

4. 評価

計画の有効期間は原則 3 ヶ月で設定しているため、3 ヶ月後に目標達成ができたか評価を行う。目標を達成されていなければ、多職種でカンファレンスを行い計画の変更か継続かを検討する。

急な体調の変化があり、計画が継続できない場合は直ちに計画を変更することもある。

変更の際は家族に説明し同意を得る。また、変更しない場合でも面会に来られた際などに状況報告をしている。

5. 経口維持加算

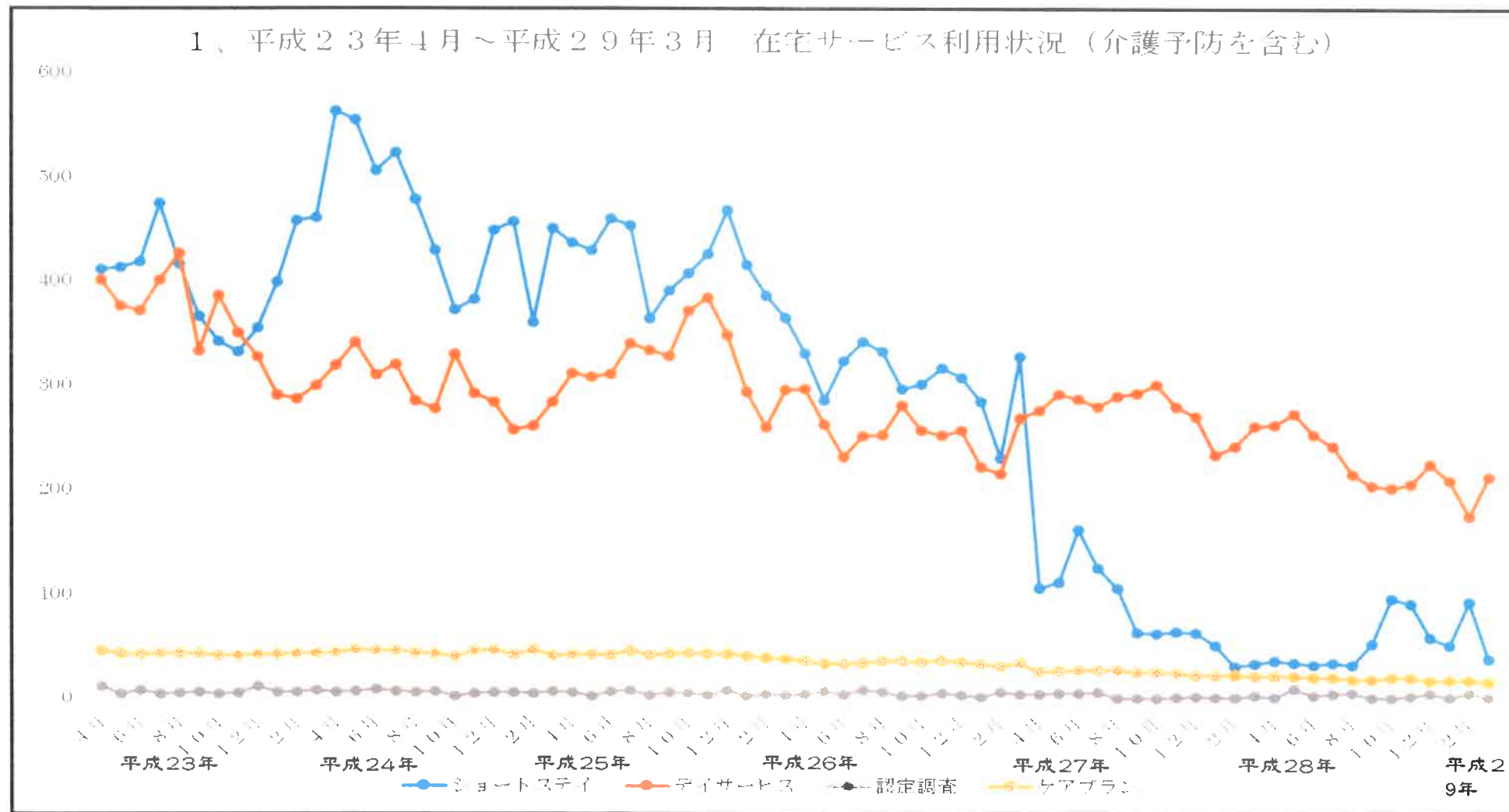
昨年 5 月から実施している摂食機能障害がある利用者様への栄養管理は、歯科、内科の先生方にも協力して頂き今年も継続して行っている。現在の対象者は 8 名で、そのうちミキサー食の方が 6 名、ソフト食の方が 2 名である。

同じミキサー食・ソフト食でも個人に合った食事内容や食具の使用などで誤嚥なく経口摂取ができています。

摂食機能障害のない利用者様に対しても、歯科医による口腔ブラッシング（月に 2 回）や義歯の調整、口腔内の悩み事などにも相談にのって頂き、できるだけ長く経口摂取を続けられるよう予防にも力を入れている。

今後は介護度の重症化により摂食機能障害の方が増えてくると予想できる。利用者様それぞれの障害の症状に応じた対応をすることにより口から食べる楽しみを忘れず、食事を安全に摂取できるように取り組みを継続していきたい。

IV、居宅介護サービス、生活支援ハウス



平成28年度事業報告

2、短期入所生活介護

1) 短期入所生活介護利用状況(市町村別) (単位:人)

市町村	男	女	利用者数
榛原	3	16	19
室生	0	0	0
大宇陀	0	1	1
菟田野	0	0	0
宇陀市	3	17	20
御杖村	0	1	1
曾爾村	0	0	0
橿原市	0	0	0
桜井市	0	0	0
吉野郡	0	0	0
県外	0	0	0
合 計	3	18	21

2) 短期入所生活介護月別利用者数(要介護度別) (単位:人)

月	要介護度							計
	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	
4	0	0	0	0	0	1	1	2
5	0	0	0	0	0	1	1	2
6	0	0	0	0	0	1	1	2
7	0	0	0	0	1	1	1	3
8	0	0	0	0	0	1	1	2
9	0	1	1	0	1	1	1	5
10	0	1	1	1	2	2	0	7
11	0	0	1	1	3	3	0	8
12	0	0	1	1	2	2	0	6
1	0	0	0	1	1	1	1	4
2	0	0	0	3	1	1	1	6
3	0	1	1	1	2	1	0	6
計	0	3	5	8	13	16	8	53

3) 短期入所生活介護月別利用延べ日数(要介護度別) (単位:人)

月	要介護度							計
	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	
4	0	0	0	0	0	20	17	37
5	0	0	0	0	0	17	18	35
6	0	0	0	0	0	15	18	33
7	0	0	0	0	3	15	17	35
8	0	0	0	0	0	15	18	33
9	0	7	3	0	7	16	21	54
10	0	4	12	10	22	49	0	97
11	0	0	5	7	28	52	0	92
12	0	0	5	2	15	38	0	60
1	0	0	0	3	21	23	6	53
2	0	0	0	44	20	6	24	94
3	0	3	3	4	29	1	0	40
計	0	14	28	70	145	267	139	663

3. 平成28年度空床型特養の利用状況

	平成28年						平成29年						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
ショートステイ	37	35	33	35	33	54	97	92	60	53	94	40	663
特養	1200	1261	1260	1328	1295	1233	1359	1409	1486	1484	1280	1434	16029
延べ人数	1237	1296	1293	1363	1328	1287	1456	1501	1546	1537	1374	1474	16692
平均利用人数	41.23	41.80	43.20	42.83	42.83	42.90	46.96	50.03	49.80	49.58	49.07	47.54	45.73
利用率(%)	74%	75%	77%	76%	76%	77%	84%	89%	89%	89%	88%	85%	82%
											年平均利用率		81.66%

考察

平成28年度は、前年に続きリニューアル工事が6月末まで続いた。工事期間中は物理的に利用人数を制限せざるを得ず利用率は70パーセント強までさがった。6月末のエレベーター工事を最後に入居できる状況ではあったが、入所を待機している人は老健等の他の施設に入っている人が多く、すぐには入所につながらなかった。11月ぐらいから特養は満室に近くなったが、ショート利用する人が少なく、今現在は徐々に回復傾向にあるが未だ空いている状況である。特養で待機している人も、最近はすぐに他の施設に入所する人が多く、人数が減ってきているように感じる。

4、通所介護

1)通所介護利用状況(市町村別)

市町村	利用者数(人)		
	男	女	合計
榛原	6	16	22
室生	0	0	0
大字陀	0	0	0
御杖村	0	0	0
合 計	6	16	22

(単位:人)

2)通所介護月別利用者数(要介護度別)

月	要介護度								計
	経過的	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	
4	0	5	9	2	4	6	0	0	26
5	0	5	10	2	4	6	0	0	27
6	0	5	9	2	4	5	0	0	25
7	0	5	10	2	3	5	0	0	25
8	0	4	10	2	3	4	0	0	23
9	0	4	9	2	4	4	0	0	23
10	0	4	9	2	3	4	0	0	22
11	0	4	9	2	3	4	0	0	22
12	0	3	9	2	4	5	0	0	23
1	0	4	9	1	6	3	1	0	24
2	0	3	10	1	6	2	0	0	22
3	0	3	9	1	5	3	0	0	21
計	0	49	112	21	49	51	1	0	283

3)通所介護月別利用延べ日数(要介護度別)

月	要介護度								計
	経過的	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	
4	0	33	71	32	59	68	0	0	263
5	0	38	71	31	62	72	0	0	274
6	0	37	69	30	52	66	0	0	254
7	0	34	72	31	53	53	0	0	243
8	0	30	66	33	51	36	0	0	216
9	0	29	65	30	53	28	0	0	205
10	0	26	60	32	41	44	0	0	203
11	0	27	73	30	33	44	0	0	207
12	0	24	64	30	57	51	0	0	226
1	0	27	63	8	85	26	1	0	210
2	0	17	65	6	63	25	0	0	176
3	0	23	79	7	73	32	0	0	214
計	0	345	818	300	682	545	1	0	2,691

平成28年度事業報告

4) 通所介護日課表(標準的な場合)

8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00
迎 え	看護師 による 体調 チェック 荷物 整理	入 浴 非入浴の利用者は、介護計画に 基づく個別行動 (手芸等のミニレクリエーション、 コミュニケーション、及び水分補給)					食事前 の 体 操	食事の準備 食 喫 事 茶	休養時間 個別リハビリ、 コミュニケーション 等		レクリエーション 不参加の利用者は、 介護計画に基づく個 別行動 (手芸・絵画等のクラ ブ活動や、個別リハ ビリ)		おやつ	カラオケ等		送 り	

※ あくまでも標準的な場合であり、通所介護計画や本人の体調、希望により時間的に変化する。

5) 年間行事

4月	お花見 大学いも作り 焼きそばパーティ いちご大福作り 買い物ツアー 鍼灸マッサージ 喫茶店	7月	七夕飾り付け どら焼き作り 買い物ツアー 鍼灸マッサージ 喫茶店	10月	紅葉見学 さつま芋お焼き作り 買い物ツアー 鍼灸マッサージ 喫茶店	1月	ベビーカステラ作り ゴマせんべい作り 買い物ツアー 鍼灸マッサージ 喫茶店
5月	開園記念日 ハートスマイルコンサ ート 広島焼き作り バナナケーキ作り おはぎ作り 買い物ツアー 鍼灸マッサージ 喫茶店	8月	買い物ツアー 鍼灸マッサージ 喫茶店	11月	紅葉見学 クレープ作り 買い物ツアー 鍼灸マッサージ 喫茶店	2月	雛飾り バナナホットケーキ作り 豆腐みたらし団子作り 買い物ツアー 鍼灸マッサージ 喫茶店
6月	七夕飾り作り フレンチトースト作り マドレーヌ作り カレーライス作り 買い物ツアー 鍼灸マッサージ 喫茶店	9月	敬老の日コンサート (龔風会) おはぎ作り 秋祭り 買い物ツアー 鍼灸マッサージ 喫茶店	12月	クリスマスコンサート (にし ゆき氏) パイナップル巾着作り 豆乳パンケーキ作り 餅つき 買い物ツアー 鍼灸マッサージ 喫茶店	3月	コーラスおもちゃ箱 けんちゃん寿司 いちご大福作り おはぎ作り 買い物ツアー 鍼灸マッサージ 喫茶店

※ クラブ活動は、手芸、貼り絵、カラオケ、料理、園芸、音楽等。

機能訓練やレクリエーションは、平行棒による歩行訓練、風船バレー、ゴルフゲーム、ボールしりと、テーブルカーリング、玉入れ、輪投げ等。

5、居宅介護支援事業

現在1名の主任ケアマネジャーで居宅介護支援事業を行っている。施設が24時間、365日の営業体制であるため、時間外のオンコール対応や緊急事態に対する対応もあったが、前年度に比べると落ち着いてきている。

緊急時には、短期入所の利用で対応できるため事なきを得ているが、その事が単独の居宅介護事業所にはない強みであると認識し、今後の事業展開に生かせるものとする。ただ、一人のケアマネジャーのかかえるケアプランの件数が例年に増して減少傾向にあるため、人件費等での経費の不足が続いている。

種々のサービスにアプローチするケアマネジャーとして他の事業所との差別化を計るべく努力を重ねている。

平成28年度月別利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
認定調査	2	10	4	6	7	2	2	4	7	3	7	3
要介護支援	13	13	12	12	11	11	12	12	11	12	12	10
予防介護支援	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8
介護支援総計	22	22	21	21	20	20	21	21	19	20	20	18

6、給食サービス

給食サービスは平成8年に宇陀市から委託を受け、榛原地区内の食事の調達が困難な老人世帯を対象に、当施設で調理した弁当を配達する事業である。

主な目的は、在宅高齢者が健康で自立した生活を送ることができるよう健康の保持を支援することと安否の確認である。

榛原を2つの地域に分け、2施設で事業を分担している。

当施設の方針としては、弁当の見栄えよりも、できるだけ市販の弁当にはない、家庭的で食べやすい料理を目指して献立作成をしている。

量的には、栄養補給を考えると多いほうがいいが、出来るだけ一度に消費しきれる分量を考慮している。また、傷みやすい食材を除いたり、蛋白質をたくさん摂取できる献立や、季節・行事に合わせた献立を作成するように心掛けている。サービスを利用されている高齢者にも料理が大変好評で、喜んでいただいている。

只、宇陀市から平成17年4月1日以降、給食サービスの委託料が毎年見直され、平成23年度からは宇陀市が合併されたことによる地域間の調整と宇陀市の財政事情により利用者負担が400円、市の補助金が300円となった。給食委託事業者への支払い以外にも、配達、安否確認の人件費や光熱水費、調理設備、栄養士の人件費は当施設で負担しており、経営的にはコストが委託料を上回っている。また、利用者負担が値上がりしたことや以前に比べ複数の民間業者が参入している事もあり、利用者数は減少傾向にある。

しかし、弁当を配達する事よりも手渡しを原則として安否確認を行うウェイトが大きく、時には生命にかかわる事もある。不在の時には所在確認に時間を割かれるが、市役所とも連携して行っている。これも地域貢献と考える。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用 食数	48	47	60	47	39	49	36	36	45	34	36	45	522

(単位：食)

7、生活支援ハウス

1) 利用状況

(単位: 人)

	平成28年									平成29年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所者数	7	7	7	7	7	7	7	7	8	7	7	6
退園者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
利用者総数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6

2) 年間行事

お花見

園芸

収穫した野菜の調理・試食会

外出支援

100歳体操

インフルエンザ予防接種

お茶会

※ その他、特別養護老人ホーム、通所介護部門でのクラブ活動や行事に参加。

3) 委託料

榛原町と宇陀市からの委託料は下記のとおりである。開設当初に比べ年々下がって来ている。運営上苦しいが、あくまでも福祉目的で利用者負担をできるだけ抑えて、予算内で工面する様努力が必要である。

(単位 千円)

委託元	榛原町	榛原町	榛原町	榛原町	榛原町	宇陀市	宇陀市	宇陀市	宇陀市	宇陀市	宇陀市	宇陀市	宇陀市	宇陀市	宇陀市	宇陀市
年度	平成13年10月開設	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
年間委託料	¥3,337	¥8,937	¥8,383	¥8,361	¥8,305	¥8,305	¥8,305	¥7,475	¥7,475	¥7,475	¥7,475	¥7,475	¥7,475	¥7,475	¥7,475	¥7,475

※平成27年度後期より利用者が少なくなっているが、隣接の特別養護老人ホームの改修に伴い、エレベーターを必要とした利用者が他施設に入所した。
また新規に入所の引き合いが若干あったが、いずれも足腰の弱い方で「特養のエレベーターが改修工事のため使用できない。」との理由で断った。

V、平成28年度実施事業

1、特別養護老人ホーム改修事業

特別養護老人ホーム悠楽園の本館は平成2年5月に開園以来26年経過した。部分的に適時保守はしているものの、かなり老朽化し、開園当初は最先端の建物であっても、時代の流れと共にプライバシーや個人情報の守秘義務等に対する社会の考え方や需要も変化しており、利用者や御家族が快適に生活できる様な建物でなくなって来た。そこで奈良県に平成27年度の補助金を申請したところ、快く受諾頂き改修工事を行う事が出来た。これを機に、建物全体の断熱や省エネを考え、又、エレベーターの耐震化の必要性や保守部品の確保が難しくなった事もあり、大々的に改修する事とした。入札は全ての工事を一括で行ったが、工期や補助金の関係で、「多床室のプライバシー保護改修事業」と「公共建築物木造化・木質化推進事業」の工事を平成27年度に、残りの断熱化、省エネ化改修とエレベーターのリニューアルを平成28年度の工事とした。

平成27年12月3日 現場説明会

平成27年12月24日 入札

平成27年12月25日 着工

平成28年3月31日 「多床室のプライバシー保護改修事業」竣工

平成28年5月13日 「公共建築物木造化・木質化推進事業」竣工

平成28年6月30日 「断熱化、省エネ化の残工事、及びエレベーターのリニューアル工事」竣工

設計管理

株式会社 榊谷設計

1, 300, 000円

施工

松塚建設 株式会社

「断熱化、省エネ化の残工事、及びエレベーターのリニューアル工事」

115, 610, 112円

平成28年度改修事業

合計 116, 910, 112円



玄関ロビー



外観